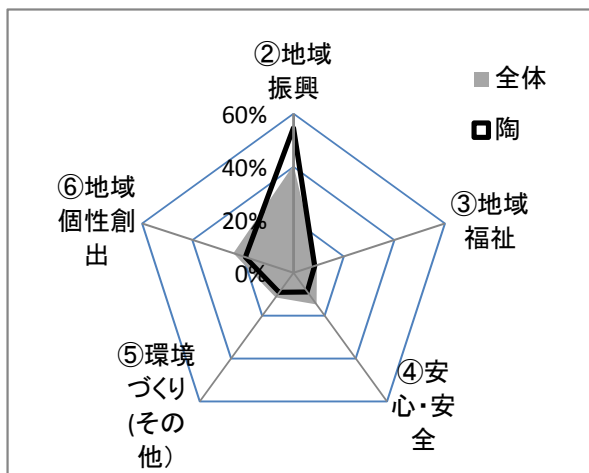


陶連合自治会 地域づくり交付金事業概要(平成26年度)

■地域の情報

地域人口	2,552人	自治会数	16
世帯数	926世帯	自治会加入率	81.21%

※数値は、平成27年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	10,117,000 円
交付金決算額	9,617,000 円
その他収入	10,842 円
交付金決算額／配分額	95.1%

各分野の決算

①協議会運営	3,638,820 円
②地域振興	1,241,678 円
③地域福祉	191,681 円
④安心・安全	201,812 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,713,000 円
⑤環境づくり(その他)	207,062 円
⑥地域個性創出	433,789 円
決算総額	9,627,842 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

第2次陶地区地域づくり計画・福祉活動計画に沿い、“地域の課題をつかんで”“問題解決に必要なことをやる”という視線に立って、留意して取り組みました。

(1) 量から質へ…陶地域に育ってきている「話し合いの文化」を活かしながら

- ・地域課題の解決に役立つよう、目的・内容・方法などの見直しを進めます。
- ・地域の課題把握→計画→実行→評価というプロセスを重視して事業を進め、地域力を高めます。
- ・重点事業をはっきりさせ、事業の休止や整理統合も視野に入れます。

(2) 「みんなでつくる住んで誇りに思う陶」づくりに向けて多くの住民が関わられるよう“楽しい催しの開催”“出番づくり”“舞台づくり”などに留意します。

(3) 現在陶地区の高齢化率は30%ですが、今後更に高まることがはっきりしていますので、5年先を考えて地域づくり計画の見直しも含めてあり方を検討します。

■総括

(1) 委員会の充実の一環として「協働によるまちづくり講演会」の内容を深め広めるワークショップを開催し、委員の意識を高めるとともにこれからの取組のあり方を共有することができました。

(2) 「陶ふれあいまつり」を「ふれ合いづくり」「出番づくり」「安心づくり」のねらいを掲げて行った結果、まつりを盛り上げることができ、今後の事業のあり方をつかむことができました。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局体制 (事務局長:1名 事務員:2名)、事務費
② 地域振興	①陶づくりセミナー 視察交流を山口県立大学と共同実施 ②広報誌「まるごと陶」を毎月発行し、各戸に配布 ③地区民運動会、陶ふれあいまつりの開催 ナンプナインの協賛 ④活動グループの育成(ふれあい農園クラブ、陶助っ人隊)
③ 地域福祉	①地域福祉講座の開催 ②子育て支援の推進(放課後の学童保育、未就園児子育て) ③三世代交流の推進(陶小ふれあい広場、新春ふれあい広場)④高齢者のサポート(西京大学)⑤健康講座(ふるさとウォーキング)
④ 安心・安全	①自主防災対策(防災訓練の一環として、焚きだしの訓練、自主防災本部委員会の開催)②陶っこ見守り隊(子ども見守り活動) ③各種マナーアップの推進(マナーアップ啓発のため広報誌を通じて呼びかけを実施) ④交通マナーアップ in SUE(交通安全期間中に啓発用の幟掲揚と広報車による広報活動や立哨)

⑤ 環境づくり	①土木工事:単市土地改良(農水路の整備) ②法定外公共物(里道舗装の整備) ③陶クリーン作戦(道路環境美化)
⑥ 地域個性創出	①「懐かしの写真」展示 ②陶ふるさと大学 ③地元文化育成(陶来楽夢ミュージック) ⑤文化財保護活動(・陶窯跡周辺の清掃、整備 ・案内板の設置) ⑥コミュニティ・スクールの支援 ⑦次世代育成事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	人材発掘、人材育成	決算額	140,501円
	目的	人材の発掘と育成によるまちづくり: 県立大学と共同で高齢者対象の地域づくりセミナーを開催し、新たな活動グループを立ち上げます。		
	実施内容	陶づくりセミナー視察交流を山口県立大学と共同実施「ほほえみの郷 トイトイ」(阿東地福)		
	実施時期	平成26年10月		
	参加人数	32人		
	成果	人口減少高齢化が進む地域で住民が頑張っている姿に接し地域づくりへの関心が深まりました。		
	評価	活発な意見が出て積極性が生まれ地域づくりにつなげることが出来ました。		
今後に向けて	次年度も引き続きセミナーを実施し、人材発掘、人材育成に努めます。			
②	事業名	三世代交流の推進	決算額	46,369円
	目的	複数の団体とイベントを開催し、世代間の交流を深めます。		
	実施内容	陶づくりセミナー 視察交流を山口県立大学と共同実施「ほほえみの郷 トイトイ」(阿東地福)		
	実施時期	平成26年10月		
	参加人数	32人		
	成果	人口減少高齢化が進む地域で住民が頑張っている姿に接し地域づくりへの関心が深まりました。		
	評価	活発な意見が出て積極性が生まれ地域づくりにつなげることが出来ました。		
今後に向けて	次年度も引き続きセミナーを実施し、人材発掘、人材育成に努めます。			
③	事業名	文化財保護活動	決算額	108,535円
	目的	文化財保護活動及び既刊の「ふるさと陶の歴史めぐり」マップ改訂版の作成。		
	実施内容	①陶窯跡周辺の清掃、進入路の整備 ②案内板の設置		
	実施時期	①平成26年10月 ②平成27年3月		
	参加人数	①25名 ②業者委託		
	成果	毎年実施することにより、以前に比べ草木の伸びが進まなくなってきました。		
	評価	周辺環境整備と案内板の設置により、見学者が立寄りやすくなりました。		
今後に向けて	陶のお宝を、もっと地区内外に発信することを検討します。			